

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 Picowill久我山

公表日 2025年3月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		集団活動の中では、1対1または2対1での対応が行なえるよう職員を配置している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	各グループや活動に合わせて、適切なスペース作りや構造化など環境調整を行なうよう意識している。また、環境調整にあたっては個の配慮等も職員全体で共有しながら実施している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		・意見を言いやすい環境ではある。意見を求める場、把握する機会は設定されている。業務改善（業務役割分担・スケジュール管理）の課題がある為早急に解決していく
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		第三者による外部調査を行なっておりませんが、必要に応じて検討をしていく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部講師をお呼びした研修では全員で参加することが出来共通意識を持つことや全体のスキルアップ向上に繋がると思っているので今後も定期的に行なっていきたい	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	日案の提示・HUGでの送信を行ない保護者様へ活動のねらいを伝えている	支援プログラムは、HPにて公表しております
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			職員での検討は行われている。今後に向けて個別支援計画の指針等を打ち出し、より子どもの利益に考慮した検討と作成時間の捻出が課題となる。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	必要に応じて標準化された評価を実施している	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	集団活動を軸に必要なに応じて専門職の個別活動を実施している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎回活動の振り返りを行ない、次回の活動の内容や支援方法について話し合う場がある	振り返りの中で、次回どのように活かしていくのか、個にどのように支援していくのか検討していく。また、振り返りの時間の使い方や何にフォーカスして振り返りを行うのか等検討と改善をしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			記録はとることは実施されているが、今後は直接的に検証や改善に繋げていくようにする
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		所属園（幼稚園・保育園）との連携は行なっている。連携のやり方（電話・ZOOM）や時間等は課題がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		共有の仕方、療育との体制の整え方には課題がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	小学校との直接的な連携はまだないが、就学支援シート（すばる）の記入を行ない、お子様の状況や配慮点についての情報提供を実施している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			未回答：1 年2回こども発達支援センターから外部講師をお呼びし研修を実施した。今後もSVなどからの助言を頂きながら事業所全体でスキルアップを図りたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		未回答：2 ・わからない ・地域との関わった活動が少ない。今後、必要に応じて実施を検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者様に活動を見学して頂き、終了時に個別でフィードバックの時間を設けている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	外部研修のご案内やチラシの配布・HUGによるお知らせ配信で情報提供いたしました	未回答：1 ・わからない ・今年度は開所したばかりということで、実施できていなかった。今後は実施方法や内容等検討し実施していきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	グループ活動見学時において、保護者様同士の交流に繋がっている姿も見られた	今年度は実施できなかった為、今後グループ毎での保護者会の機会を作る等、検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			ダブルチェックなどを実施しているが、より十分留意できるようチェック体制の見直しと周知を適宜行う
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・開所時、地域の方々に向けたお披露目会を実施した。また適宜見学等の受け入れを行なっている ・子育てプラザ棟として学生や同業種、学校関係者の方々等が興味を持ち見学に来所されている	未回答：1
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		玄関書籍コーナーに自由に閲覧可能となっている	自由閲覧可能となっているが、周知という点においては改善点が必要である。今後訓練等も含めてHUGアプリを使用し保護者周知をしていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			入所時に確認をしているが、定期的な確認を今後は実施していく必要がある
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			未回答：2 ・わからない ・職員間アレルギーのあるお子様の把握はしているが、食事提供等実施していない為医師の指示に基づく対応には至っていない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				